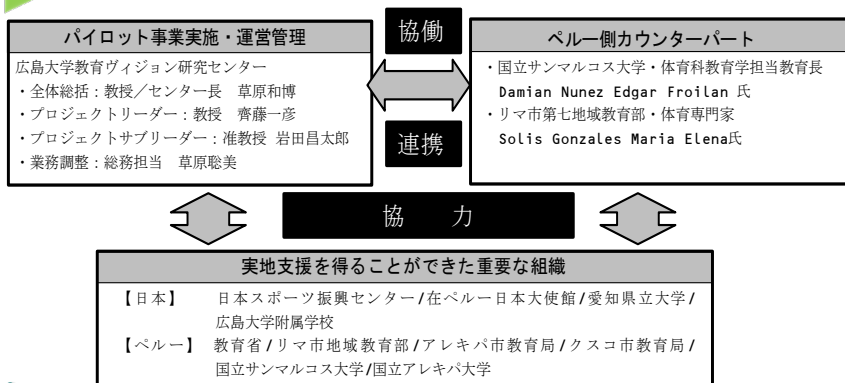


ペルーでは、2017年から小学校の体育授業数が週2コマから3コマへと増加し、適切な体育授業を展開できる教員の育成が喫緊の課題となっている。またその中で、日本の学校体育の知見の共有が求められてきている。そこで本事業では本学が中心となりながら、特にレッスン・スタディを活用した体育教員研修システムの構築を目指しつつ、ペルーの体育教師の能力開発に向けての支援を行う。

事業コンセプト

ペルーでは、体育の授業時間数が増えたことにより、体育授業のあり方や、それを教える教員研修プログラムの作成が検討課題である。本事業では、レッスン・スタディを活用した体育教員研修システムをペルーの体育科教育関係者とともに構築し、ペルー国内に広く普及していくための支援を行う。

実施体制



今年度の実施内容・アウトプット

◎地方都市であるアレキパ市及びクスコ市を訪問し、学校の体育の実情を調査した上で、大学教員、体育指導主事らとレッスン・スタディを用いた体育授業の向上について意見交換を行い、2019年度に両都市にて「授業研究会」が開催できるための調整を行った。

◎リマ市で、ペルー国内では初となる「授業研究会」を、教育省体育・スポーツ局、サンマルコス大学、リマ市教育局及び地域教育局の体育科教育の専門家、さらにそして現職の体育教員らを招き、開催した。リマ市の二校の中学校において体育授業の観察を行った上で、事後検討会を実施した。

◎リマの体育教員向けの研修会に参加し、レッスン・スタディを活用した教員研修のあり方についての発表を行った。



今後の展望

日本国内の専門家からの助言を受けながら、ペルーの体育教育関係者との共同体制でレッスン・スタディを活用した体育教員研修プログラムを完成させる。また、これらをリマ市のみならず、地方都市においても展開し、国内での普及を図るための支援を行う。